

山形県 鶴岡市役所 様

デジタル化戦略の一環で導入。
LGWAN 環境でも柔軟に運用でき
年間1,230時間の業務効率化。



導入前の課題

- 毎週定例で行われる会議の議事録作成に課題があった
- 市役所のネットワークセキュリティ環境ではクラウドサービスが十分に活用できない

導入後の効果

- AI音声認識により議事録作成の時間が短縮し、年間1,230時間の業務効率化
- インターネット接続なしでも利用可能なため、LGWAN環境でも柔軟な運用が可能

デジタル化戦略の一環として導入

鶴岡市役所では2021年度にデジタル化戦略を策定し、市民の利便性向上と庁内でのデジタル技術利活用による業務効率化の取り組みを進めています。その中で、毎週定例で行われる会議の議事録作成に課題があり、実態調査の上、「ScribeAssist」の実証試験を行いました。その結果、十分な費用対効果が見込まれたため、2022年度から導入を決定しました。

インターネット接続不要のため LGWAN 環境でも利用可能

市場には多くの議事録作成支援サービスがありますが、そのほとんどがクラウドサービスであり、市役所のネットワークセキュリティ環境では、多くの職員が効率的に活用することはできませんでした。その一方で、「ScribeAssist」はインターネット接続なしでも利用可能なため、LGWAN（総合行政ネットワーク）環境でも柔軟な運用が可能な点が導入の決め手となりました。



▲企画部 情報企画課 富樫 富士子 様

年間1,230時間の業務効率化

年間400回ほど利用しており、導入初年度は年間1,230時間の業務効率化を見込んでいます。導入当初は期待した認識精度が得られないという声も多くありましたが、マイクやセッティングを改善することで、認識精度は大幅に改善しました。もう手作業での文字起こしには戻れないという声が多く、今後はさらなる効率化のため、ライセンスなどの管理方法も見直しながら全庁でさらなる業務効率化を目指したいと考えています。



▲ ScribeAssist を利用している様子







Tsuruoka city
鶴岡市

山形県 鶴岡市役所

| | |
|-------|--------------|
| サービス | ScribeAssist |
| 業種 | 自治体・官公庁 |
| 利用シーン | 社内打合せ |
| 導入 | 2022年7月 |

録音のコツ

マイクの運用方法によって、音声認識の精度が大きく向上します

| | | 会議 (大人数) | 会議 (少人数) | 面談 | セミナー |
|---------------|---|-------------|-------------|----|------|
| IC レコーダー |  | × | △ | ○ | ○ |
| グースネック マイク |  | ○ | — | — | ○ |
| ハンド マイク |  | ◎ | △ | △ | ◎ |
| バウンダリー マイク |  | ○ | ○ | ○ | — |



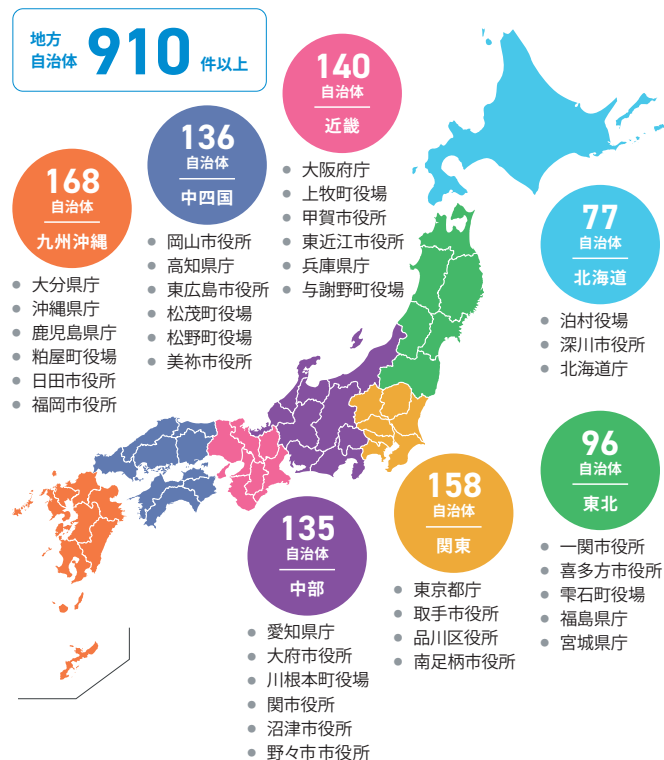
マイクと口元が近いと○



マイクと口元が遠いと×

導入実績

2025年6月現在／議事録ソリューションの導入実績



製品情報



AI音声認識とAI要約で 議事録作成を自動化します

ScribeAssist（スクライバアシスト）は、スタンドアローン型のAI議事録作成アプリケーション。インターネット接続なしで動作するため、機密性の高い会議でも安心して利用できます。

AI音声認識AmiVoice®で高精度に文字起こししたら、オフラインでも動作する生成AIが議事録形式に自動で要約。議事録作成の効率を大幅に向上します。

リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。



製品詳細ページはこちら

